れんけいと支援

No.**201** 2021.1月号

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りし

ace to ruce,

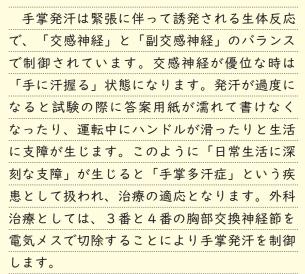
Heart to Heart

富山市今泉北部町2-1/Tel: 076 (422) 1112代 http://www.tch.toyama.toyama.jp/発行日 2021年1月



手掌多汗症に対する当科の 手術治療について

呼吸器・血管外科センター 瀬川 正孝



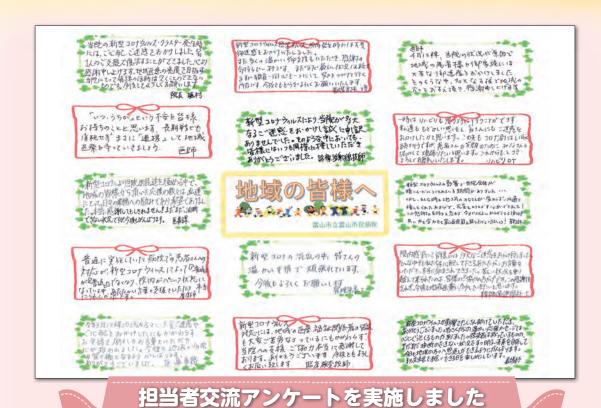
この手術は胸腔鏡を用いて行い、比較的安全に短時間ででき、そして何より効果が確実であるために、一時期、広く行なわれました。しかしながら、手掌の発汗を止めることにより、程度の差はありますが、背部・臀部・足底などに「代償性発汗」が発生します。手掌多汗症は治ったものの、逆に高度の代償性発汗のために日常生活が損なわれてしまうことがあるという問題、そして代償性発汗は「後戻りできない」問題であることから、近年はあまり行われなくなってきました。

そこで当科ではこの手術において、あえて交

感神経節を切断せず に、「部分的に神経 繊維を残すような」 焼灼を行うという改



良を行いました。胸腔鏡で神経節を確認しなが ら、おおよそ80%の神経繊維を焼灼し、20% ほどを温存するのです。その結果、手掌が乾き すぎることなく発汗を制御し、かつ代償性発汗 を低下させることが可能となりました。手術を 受けた患者さんからは高い満足度をいただいて おり、富山医療圏のみならず県内外から多くの 方が治療を受けにいらっしゃるようになりまし た。しかしこの方法には、あえて不完全切除を するがための欠点があります。それは、神経組 織の再生により、数年~十数年で効果が消失し 元に戻る可能性があるということです。しかし ながら、この手術は繰り返し施行可能であるた め増悪すれば再手術で対応できることと、十数 年を経過すると患者さん自身が「それほど過度 に緊張しない年齢」に達して、再手術自体が必 要なくなるなど、患者さんの人生をトータルで 考えれば、後戻りできない手術よりも当科の方 法がより良いものであると考えています。



地域医療部では、例年秋頃に担当者交流会を開催しておりましたが、今年は新型コロナウイルス感染予防のため、グループワーク形式を見合わせ、アンケートを実施いたしました。コロナの終息に先が見えない中ではありますが、禍中にあっても当院は地域の関係者と出来る限りの連携を図りながら、入退院支援や在宅療養支援をしていきたいと考えております。ケアマネジャー始め、多くの方にご回答いただき、誠にありがとうございました。アンケートでは、「以前よりも直接利用者の情報を得られない」、「本人の意向を確認したくい中で苦労している」という声が多かったです。病院では退院前カンファレンスや本人面会の機会が

がとうございました。アンケートでは、「以前よりも直接利用者の情報を得られない」、「本人の意向を確認 しにくい中で苦労している」という声が多かったです。病院では退院前カンファレンスや本人面会の機会が 減っている現状にあり、オンラインの活用やサマリーでの情報交換の充実など様々なご意見をいただきま した。地域の皆様の率直なご意見を今後の連携の参考とさせていただきたいと思います。「with コロナ、

after コロナ」におけるよりスムーズな地域連携を考えて、これからもよろしくお願いいたします。



研修・講演・学習会のご案内

1. 地域連携症例検討会

日 時:2月9日(火) 19:00~20:15 場所:当院3階 講堂

1)症例検討(2例)

①『下垂体炎を伴ったIqG4関連疾患のI例』

②『重症貧血にて発見された巨大子宮筋腫の一例』

2) ミニレクチャー:「頻尿 診断・治療のコツと最近の話題」

腎臓内科 堀越 慶輔

産婦人科 津田 竜広

泌尿器科 児玉 浩一

頻尿は、外来で遭遇する機会の多い愁訴の一つと思いま 尿がどのようなメカニズムで起こっているのかを見極めない新治療についてもご紹介させていただきます。 と、逆の治療が行われることにもなりかねません。

今回、頻尿について、その診断や治療のポイントについて す。排尿障害は蓄尿障害 (尿をうまくためられない)と尿排 お話しさせていただきたいと思います。抗コリン薬やβ刺激 出障害(尿をうまく出せない)の二つに大別されますが、頻 薬といった使用する機会の多い薬の使い分けのほか、難治 尿は蓄尿障害だけではなく尿排出障害でも起こります。残 性の頻尿に対するボツリヌス毒素膀胱壁注入療法や体内 尿が多い時にみられる頻尿がこの典型です。このため、頻 埋め込み型neuromodulationといった薬物治療以外の最

日時:3月9日(火) 19:00~20:15 当院3階 講堂

内容:①症例検討 2例 (担当) 呼吸器・血管外科 歯科口腔外科

②ミニレクチャー (担当) 循環器内科

※定例の研修会、看護研修、衛星研修S-QUE視聴研修

当面の間、開催を中止いたします。

衛星研修S-QUE研修の資料をご希望の方は、ふれあい地域医療センターへご連絡ください。

S-QUE Eナース

○配信期間 2月8日~3月8日 症状別フィジカルアセスメントを極めるシリーズ~高次機能障害

○配信期間 2月22日~3月22日 患者の声にならない訴えを看るシリーズ~MCI(軽度認知症)を知る、防ぐ

当院の検査をご利用ください。

ご予約は、ふれあい地域医療センターで承っております。

予約、問い合わせについては、ふれあい地域医療センターに直接電話いただくかまたは検査予約 申込書を FAX してください。予約日時について折り返しご連絡いたします。

ふれあい地域医療センター TEL 076-422-1114(直通) FAX 076-422-1154(直通)

検査名		造影		予約可能時間	結果について	
1次且右			無	7. 火九 元 96 四年1月	和未にがし	
	予約	0	0	①9:40 ②14:00	当日、本人へお渡し	
CT ※冠動脈CTは、循環器内科での 診療予約となります。	Cプラン	0	0	時間予約不可 16:00までの来院	当日、本人へお渡し	
B)/// 1 1/1 C & / & / 0	時間外	×	0	17時までの来院	翌日(金曜日は翌月曜日)に郵送	
MRI				①9:45 ②14:00	当日、本人へお渡し	
RI				9:00~12:00	後日、郵送	
マンモグラフィー				9:00	当日、本人にお渡し	
エコー			10:30	当日、本人にお渡し		
ベエコー 頸動脈エコー				①9:00	後日、郵送	
骨塩定量 (小児の場合は、小児科	の診療予約と	なります	9:00~12:00	当日、本人にお渡し		
胃カメラ (火、水、金)			9:00	後日、郵送		

※結果が郵送の場合の送り先は、紹介元医療機関となります。また現在、翌日のお届けは、おこなっておりません。

薬剤科から

薬薬連携について



薬剤科 藤井 浩司

現在薬剤科では、患者さんの服薬継続のため、 保険薬局と連携して(薬薬連携)、切れ目のない薬 学的管理を目指しています。その一環として、院外処 方箋の形式的な疑義照会を保険薬局と病院で事前 に変更内容を合意しておき、保険薬局で患者さんを お待たせしないような仕組み(疑義照会プロトコー ル)を一部の保険薬局と試験的に行っています。内 容は一包化コメントの追加、残薬がある場合の残 薬調整、用法を鑑みて日数が多い場合の処方日数 調整、と少ないのですが、特に疑義照会が多い項目 です。現在は試験的運用ですが、問題点の修正後は 参加薬局を拡大していく予定です。 また、入院時・退院時の患者さんの切れ目のない 服薬継続を目指し、服薬状況について情報交換が できる体制を構築中です。患者さんが「かかりつけ」 と考えている保険薬局に服薬情報提供依頼し、ス ムーズな入院時の服薬継続に繋げた後、退院時に は入院中の服薬情報を提供いたします。退院後の患 者さんの薬学的管理にご利用いただければと思いま す。

その他、トレーシングレポート(服薬情報提供書)は随時薬剤科で受け付けております。連携充実加算に関わる、抗がん剤を使用している患者さんのトレーシングレポートや、吸入薬指導のレポート等をご報告いただければ、電子カルテに取り込み、診療に役立てていますので、お気軽にご報告いただければと思います。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

	科 名	医師名	不 在 日	科	名	医師名	不 在 日
	内科	政 岡	17日	眼	科	狩 野	1日、15日
		堀 越	19日	耳鼻いんこう科	・頭頸部外科	辻	5日
		本 江	5日	形 成	外 科	田中	3日
		森	2日	産 婦	人 科	長谷川徹	4日
	外科	佐々木	26日	监到口	腔外科	寺 島	19日、22日
	脳 神 経 外 科	毛 利	4日			朝倉	1日
	呼吸器・血管外科	湖東	2日、8日				

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。 TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

年明けから雪がたくさん積もり、除雪作業に追われたのではないでしょうか。私自身も大雪にうんざりしながら、気合を入れて家族総出で除雪をしました。家にいる時間が長いためいい運動にもなるかと思いましたが、やはり大変でした。子供は雪に喜んでましたが…。

しかし、そんな中でも変わらず新型コロナウィルスは猛威を振るっています。今年も感染対 策をしっかりと行い、安全・安心な医療を提供できればと思っております。

放射線技術科 南 久美



作:病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。 送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154 メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ http://www.tch.toyama.toyama.jp/ がん何でも相談室:メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.j